

輝この大津!!

～すべての人の笑顔が輝く大津へ～



大津を輝かせていくために、皆様のご意見を募集しております。



大津市は自然・歴史・文化など魅力あふれる地域であります。また人口減少の進行する日本の中でも、大津市の人口は増加している地域でもあります。しかしながら、就労や買い物など、多くの方の生活の基盤は大津以外にあり、ベッドタウン化しているのではないのでしょうか。

磨けば輝く資源が豊富な大津。素材に光をあて、育てるとともに、新たな価値の創出により、雇用の拡大

や地域経済の活性化にもつなげることができ、大津市はもっと元気にできるはずですよ。

住んでいる人たちの、働いている人たちの、そして、来訪される人たちの、すべての人の笑顔が輝くまちになるように、大津市に関わる皆さまの声を形にし、皆さまとともに政策をつくり、大津に活気と元気を取り戻していきます。

3つのまちづくりの方向性

「子ども」を中心においたまちづくり

子育てしたいと思える大津市にしていくために、保育料、医療費、給食費など、子育てにかかる経済的な負担の軽減や、子育て支援施設や図書館、公園等、子育て環境の整備や、教育環境の充実・教育施策の方向性について議論し、施策を展開します。

地域の特性を活かしたまちづくり

南北約 45.6km、東西約 20.6km と南北に長い大津市域であり、旧町村、歴史的な背景もあり、各地域における政策課題も多岐にわたっています。これまでの7つの福祉圏域を活用し、地域特性をいかしたまちづくりを進めるとともに、大規模公園や子育て支援施設、児童館、図書館分館などの設置・更新により、各地域の魅力を高めてまいります。

公共交通を軸としたまちづくり

高齢者の免許返納が増える中、バスやタクシーなど、公共交通事業者の撤退や減便が進んでおり、交通弱者が増加しつつあります。既存の鉄道・バス・タクシーを支えながら、交通弱者を生み出さないため、コミュニティバスなども含めたすべての方の生活の基盤となる新たな交通網のあり方について検討していきます。

～すべての人の笑顔が輝く大津へ～

5つの輝く未来プロジェクト

子どもが輝く ～子育てと教育を最優先し、子どもの未来が輝く大津へ～

- ◆妊娠前から就学期まで切れ目ないサポートの充実
- ◆子どもたちが健やかに育つ・育てられる環境の整備
- ◆すべての子どもたちの学びの支援のための学校環境の充実

高齢者が輝く ～健康づくり・福祉施策の充実で、健康寿命が日本一の大津へ～

- ◆いつまでも健康で活躍できる環境づくり
- ◆医療・福祉・健康の施策の連携
- ◆公共交通の活用によるおでかけサポートの充実

働く人が輝く ～地域経済の活性化と安心して就労できる大津へ～

- ◆安定した雇用環境の確保と各種産業の活性化
- ◆若者・女性・高齢者・障がい者の就労支援
- ◆ジェンダー平等実現とワーク・ライフ・バランスの推進

社会が輝く ～防災・見守り体制の強化で安心して住み続けられる大津へ～

- ◆危機管理体制と情報発信力の強化
- ◆孤立防止と市民協働の安全・安心体制の強化
- ◆ICTを活用した効率的・効果的なインフラ維持管理・更新

環境が輝く ～自然・歴史・文化の魅力を高め、住んでいる市民も誇れる大津へ～

- ◆自然環境の保全再生と利活用
- ◆歴史・文化資産の発掘と観光資源化による魅力向上
- ◆資源循環型社会・脱炭素社会の構築



成田政隆プロフィール

1974年8月15日に生まれ、幼少時代は下阪本にて育つ。両親が自営業を営む中、唐崎幼稚園、唐崎小学校、唐崎中学校、膳所高等学校を卒業。中高時代はバスケット部・班に所属。

龍谷大学法学部政治学科卒業、同志社大学大学院総合政策科学研究科を修了する。学生時代はスポーツクラブのインストラクターとして、多くの方の健康増進に寄与する。一方で、大学の語学研修プログラムに参加後、海外の魅力にひかれ、アメリカ、中国、オーストラリア、タイ、ベトナム、カナダ、韓国などを歴訪する。

滋賀県で開催された湖沼会議や水フォーラムに関わりながら、子どもたちに対する環境教育のボランティア活動を行う。また第22回近畿青年洋上大学での滋賀県団長の経験をいかし、滋賀洋上大学の青年スタッフなどによる青少年育成の活動にも参加する。



地域では大津市消防団唐崎分団部長・地域防災指導員、唐崎学区スポーツ協会常任理事、NPO法人おつ環境フォーラムの理事を務める。また一般社団法人大津青年会議所では専務理事、副理事長等を歴任。趣味は自転車で周遊したり、山に登ったりなど、息子とともに自然を感じながら楽しむとともに、映画鑑賞や読書など、新たな知識や感性を身につけることも。

滋賀県議会議員として4期16年間、少子高齢化、気候変動、感染症の拡大など、社会構造の変化とともに、新たな政策課題への対応が必要であった。未来への責任を掲げ、様々な知見を調査研究し、政策提言から実現に向け、取り組みを行った。その評価もあり、第11回マニフェスト大賞優秀政策提言賞を受賞。